

二〇二二年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【修士課程】

専門科目

演劇映像学

コース

※解答は別紙(縦・横書)

各自が専攻する領域の問題を解答しなさい。

問題は、

「日本演劇」 (2～5ページ)

「西洋演劇」 (6～7ページ)

「舞踊学」 (8ページ)

「映画学」 (9～11ページ)

の四領域である。

二〇二二年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【修士課程】

専門科目

演劇映像学

コース

※解答は別紙(縦・横書)

日本演劇

(日本演劇1/4)

問題1または問題2のいずれかを選び、それぞれの設問に答えなさい。

問題1 以下のA・B・Cの設問すべてに答えなさい。

A 次の人物の演劇史上の功績・位置づけについて、簡潔に紹介しなさい。

- ① 金春禪竹
- ② 竹本義太夫
- ③ 紀海音
- ④ 近松半二
- ⑤ 初代並木正三
- ⑥ 二代目市川団十郎
- ⑦ 河竹黙阿弥
- ⑧ 二代目市川左団次
- ⑨ 坪内逍遙
- ⑩ 花柳章太郎

日本演劇

(日本演劇2/4)

問題1 (つづき)

B 掲出の文を読んで、設問に答えなさい。

物まねの品々、筆に尽くしがたし。さりながら、此道の肝要なれば、その品々をいかにもくたしなむべし。およそ、なに事をも残さず、よく似せんが本意なり。しかれども、又、事によりて濃き淡きを知るべし。

先、国王・大臣より始め奉りて、公家の御たゝずまひ、武家の御進退は、及ぶべき所にあらざれば、十分ならん事難し。さりながら、能々言葉を尋ね、品を求めて、見所の御意見を待つべきをや。その外、上職の品々、花鳥風月の事態、いかにもく細かに似すべし。①田夫・野人の事に至りては、さのみに細に卑しける態をば似すべからず。仮令、②木樵・草刈・炭焼・汐汲などの、風情にも成つべき態をば、細かにも似すべきか。それより猶卑しからん下職をば、さのみに似すまじきなり。これ、上方の御目に見ゆべからず。若見えば、あまりに卑しくて、面白き所あるべからず。此宛てがひを、能々心得べし。

設問1 この資料の書名と著者名を記しなさい。

設問2 傍線部①の内容を説明しなさい。

設問3 傍線部②を扱う能の作品を、具体的に挙げなさい。

設問4 設問5 掲出部分から分かることについて、その後の著者の意見の変遷などもふまえて、知るところを述べなさい。

日本演劇

(日本演劇3/4)

問題1 (つづき)

C 次の作品について、設問に答えなさい(節章、ふりがな等は省略し、適宜に漢字を宛てたところがある)。

ヤレ夫婦の争ひ必ず無用と。母は一間を立ち出で。最前からの様子残らずあれにて聞きました。なんとその濡髪長五郎といふ者。そなたよう見知つてか。一度堀江の相撲で見受け。その後色里にてちよつとの出合ひ。隠れも無い大前髪。たしか右の高頬に黒子。見知らぬ者もあらうとあつて。村々へ配る人相書き。コレ御覧なされと懷中より。出して見せたる姿絵を。どれと見る母。二階より。覗く長五郎。手洗鉢水に姿が写ると知らず。目早に与兵衛が水鏡きつと見つけて見上ぐるを。さときおはやが引窓びつしやり。内は真夜となりにける。ヤこりや何とする女房。ハテ雨もぼろつく。もはや日の暮。灯をともして上げませう。ムはてなあ。面白いく。日が暮れたればこの与兵衛が役。忍びをるお尋ね者。イデ召し捕らんとすつくと立つ。それ。まだ日が高いと引窓ぐわらり。あけて言はれぬ女房の。心遣ひぞ切なけれ。母は手箱に嗜みし銀一包取り出し。これはコレ御坊へ差し上げ。永代経を読んで貰ひ。未来を助からうと思ふ大切な銀なれども。手放す心を推量して。なんとその絵姿。わしに売つてたもらぬか。ムウ母者人。二十年以前に御実子を。大坂へ養子に遣はされたと聞いたが。なんとその御子息は堅固でござるか。与兵衛。村々へ渡すその絵姿。どうぞ買ひたい。ハア。鳥の粟を拾ふやうに溜めおかれたその銀。仏へ上げる布施物をつひやしても。この絵姿がお買ひなされたいか。未来は奈落へ沈むとも。今の思ひにはかへられぬわいの。ヘツエ。是非もなやと大小投げ出し。両腰差せば。十次兵衛。丸腰なれば今までの通りの与兵衛。相かはらず八幡の町人。商人の代物。お望みならば上げませう。あの売つて下さるか。それではこなたの。ハイヤ日の内は私が役目でござりませぬ。ハア、忝やといたゞく母。袖はかはかぬ涙の海。嫁は見るめを押し拭ひ。イヤ申し与兵衛様。あんまり母御様のお心根がいたはしさに。大事の手柄を支へました。さぞ憎い奴。不屈者と。お叱りもあらうが。産みの子よりも大切に。かはいがつて下さる御恩。せめてはお力にと共に隠しました。常々からも万事の品包むと思つて下さんすなど。中に立つ身の切なさ言訳。涙に時移り。哀れ数そふ暮の鐘くまなき。月も待宵の光移れば。イヤ夜に入れば村々を詮議する我が役目。河内へ越ゆる抜け道は。狐川を左に取り。右へ渡つて山越えに。よもやそれへは行くまいと。それと知らしてかけ出る情けも厚き数だゞみ。折から月の雲隠れ忍びて。様子を窺ひゐる。

設問1 この作品名と作者名を挙げなさい。

設問2 掲出部分について、どのような場面か説明しなさい。

設問3 この作者の作風について、掲出場面を踏まえて述べなさい。

日本演劇

(日本演劇4/4)

問題2 次の資料A B C Dについて、設問1～10に答えなさい。

A 抑手ク、ツ参。猿樂仕。小童一人天骨者也。リウコヲ舞ス。又師子ヲ舞。又クセ舞ヲ舞。種々施芸能。祿物種々賜之。

『看聞御記』応永二十三年三月二十五日

B めひすかきまいり候て。御かゝりにてまふ。御てさたなり。十てう。とんす一まきくたさるゝ。このほとまいり候めひすかきみなく一たんとのちやうすにて。ほんののふのことくにしまいらせて。一たんくおもしろき事なり。

『御湯殿上日記』天正十八年正月十八日

C 院参、飯後阿弥陀胸切ト云曲ヲ仕、夷昇ノ類ノ者推参トシテ、於御座敷子幕等ヲ引廻シテ有曲、奇異ノ事也、又賀茂、大仏供養、高砂等ノ能ヲモ仕候、堂上衆ニハ山科、土御門重泰等、時直モ被召候、

『時慶卿記』慶長十九年九月二十一日

D 院参、阿弥陀ムネハリ、其外種々ノアヤツリアリ、参衆之輩、西洞院宰相・同少納言・予・北畠侍従・五条少納言・土御門等也、御振舞アリ、

『言緒卿記』慶長十九年九月二十一日

設問1 Aを書き下し文に改めなさい。

設問2 Aに記されている芸能・技芸について、それぞれ簡単に説明しなさい。

設問4 Bを漢字かな混じり文に改めなさい。

設問5 Bを現代語に改めなさい。

設問6 Cを書き下し文に改めなさい。

設問7 Dを書き下し文に改めなさい。

設問8 C Dに記されている作品名をあげ、その概要を述べなさい。

設問9 A B C Dに記された人形戯について、名称の異同に留意し、それぞれの資料のおよその西暦年代を示しつつ、芸能の変遷について述べなさい。

設問10 中世の人形戯の芸能を現在も伝えていると考えられる民俗芸能を一つ以上あげ、その概要を述べなさい。

(以下余白)

西洋演劇（問題用紙全2枚、全4問）

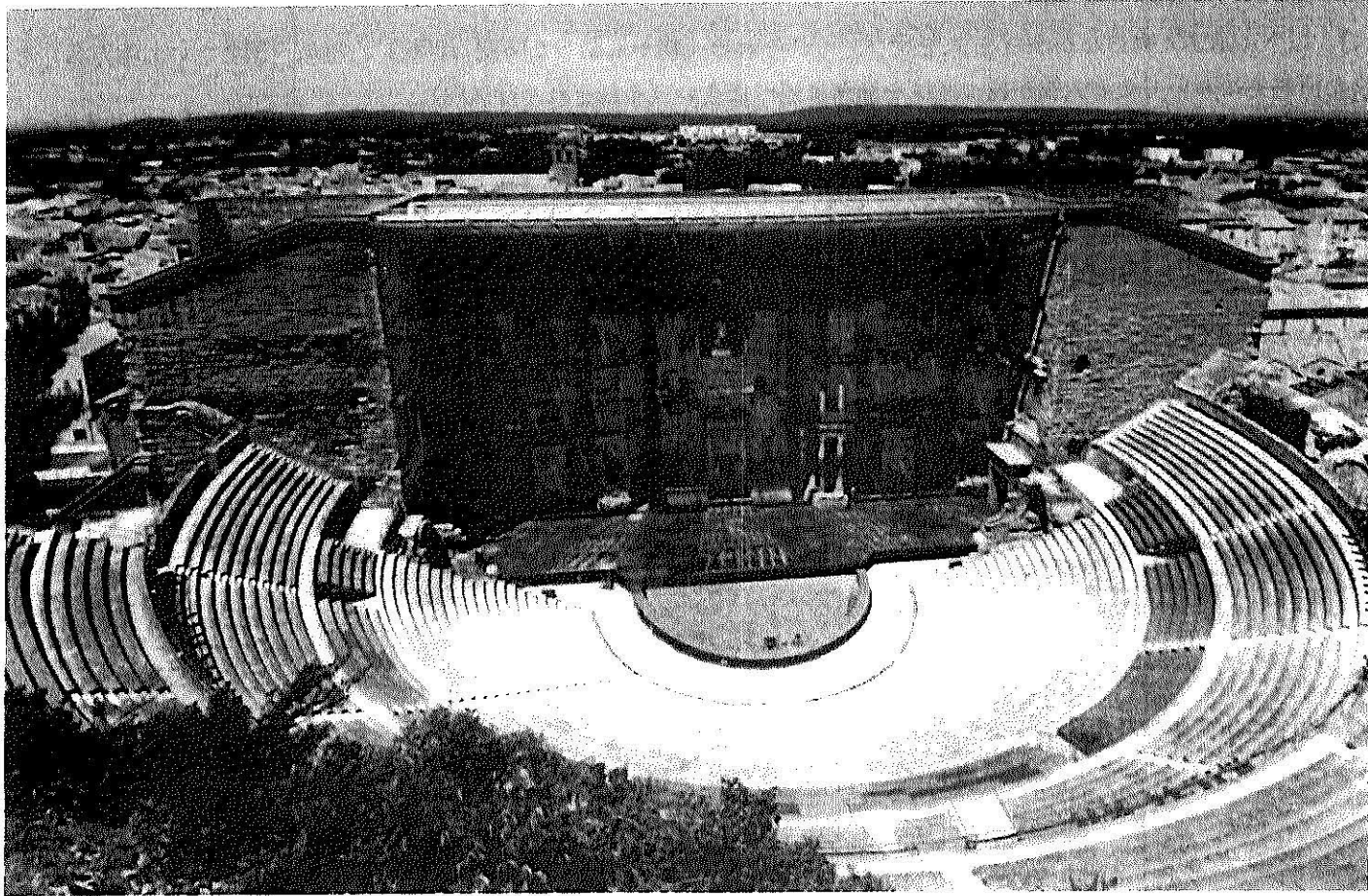
【問題1】 以下に示す人物のなかから5人を選び、それぞれの人物が活動した時期（世紀）、地域（国名ないし地方名）を記しなさい。また演劇史においてその人物が持つ意味を簡潔に述べなさい（それぞれ5行以内）。

- 1) アリストファネス
- 2) カルデロン・デ・ラ・バルカ
- 3) エドワード・ゴードン・クレイグ
- 4) アントン・チャーホフ
- 5) ゲオルク・ビューヒナー
- 6) プラウトゥス
- 7) ケイティ・ミッチェル
- 8) ティアゴ・ロドリゲス

【問題2】 以下に示す語のなかから5つを選び、それぞれの語が演劇にとって意味する内容を簡潔に説明しなさい（それぞれ5行以内）。

- 1) カルチュラル・アプロプリエーション
- 2) 宮廷スペクタクル
- 3) 劇場開設の自由化
- 4) デイオニュソス劇場
- 5) 同時舞台
- 6) ドラマ演劇
- 7) フェスティバル
- 8) フランス古典主義

【問題3】 以下に示すのは、南仏オレンジにある古代ローマ劇場の写真です。これを見て、以下の問いに答えなさい。



- 1) このような古代ローマ劇場の特徴を挙げなさい（行数自由、箇条書きでよい）。
- 2) 古代ギリシア劇場と比較した際に共通する点と相違する点を挙げなさい（行数自由、箇条書きでよい）。
- 3) ルネサンス以降に成立したイタリア式劇場の特徴を挙げながら、19世紀末以降にイタリア式劇場が批判される中で古代劇場が再評価された理由を述べなさい（行数自由）。

【問題4】 以下の3題のうち2題を選択して、具体例を挙げながら論じなさい（行数自由）。

- 1) 新型コロナウイルスの感染拡大が演劇にもたらした否定的影響、およびそれに対する処方箋にはいかなるものがあるだろうか。
- 2) 作品中に映像を用いることで、演劇の表現において何が可能になるのだろうか。
- 3) 現代における過去の作品の再演とその多様化は何を意味しているのだろうか。

（以下余白）

舞踊学（問題用紙 全1枚）

問1) 次の用語の中から5つ選び、詳しく解説しなさい。

- (1) リヴォルタード
- (2) ルルヴェ
- (3) 宮廷バレエ
- (4) プロットレス・バレエ
- (5) 暗黒舞踏
- (6) ジルバ
- (7) ウィンナ・ワルツ
- (8) レゴン・クラトン

問2) 次の人物の中から5つ選び、詳しく解説しなさい。

- (1) レフ・イワノフ
- (2) パトリック・デュボン
- (3) ジェローム・ロビンズ
- (4) ジーン・ケリー
- (5) 崔承喜
- (6) シルヴィ・ギエム
- (7) ジャン＝クリストフ・マイヨー
- (8) 勅使川原三郎

問3) 次の作品名の中から5つ選び、詳しく解説しなさい。

- (1) シルヴィア
- (2) ファラオの娘
- (3) 牧神の午後
- (4) チャイコフスキー・パ・ド・ドゥ
- (5) アゴン
- (6) バレエ・フォー・ライフ
- (7) ミュージカル『オン・ユア・トウズ』
- (8) 映画『パリのアメリカ人』

問4) 舞踊における手の表現と足の表現、それぞれの特性について簡潔に説明しなさい。

問5) いわゆるクラシック・バレエの基本原理は「天上志向性」と「開放性」である。これについて簡潔に説明しなさい。

問6) モダンダンスはバレエのどのような点に反逆して生まれたのか、簡潔に説明しなさい。

問7) EXILE、BTSなどのグループはどうして歌うだけでなく踊るのか、その理由についてあなたの考えを書きなさい。

（以下余白）

〔映画学〕

映画学の問題は問題1から問題3までである。3題すべてに答えること。 [映画学 1/3]

〔問題1〕

下記の7つの事項の中から4つを選び、その概要を簡潔に説明しなさい（各5行程度で）。

- ① タブロー形式
- ② 映画眼（キノ=ガラス）
- ③ 小市民映画
- ④ 画面外音声
- ⑤ マッカーシイズムとハリウッド
- ⑥ シネマ=ヴェリテ
- ⑦ ピエル・パオロ・パゾリーニ

〔問題2〕

次の英文を和訳しなさい。引用文の出典表示は訳さなくてもよい。なお、“Thorwald”とはここで問題となっている映画において Raymond Burr が演じた人物の役名である。

Every film trains its spectator. By the last scenes of *Rear Window* we have honed our story-construction schemata to expect a climax. We are prepared to slot actions into a narrow “outcome” format. We have been explicitly encouraged to construct certain hypotheses, accepting some and resisting others. We have been trained to take purely visual cues as signs of a narrative situation. The telltale glimpse of Thorwald escorting the woman in black, and the romance plot as a whole, have accustomed us to diverging from characters’ knowledge, playing their schemata and hypotheses against more heterogeneous and nuanced ones. We are prepared to justify events and motifs compositionally, realistically, and especially transtextually. We know that retardation will be employed to delay satisfaction of our expectations. Now, in a scene of continuous tension, the film makes maximal use of all the lessons it has taught.

(David Bordwell, *Narration in the Fiction Film*, Madison: The University of Wisconsin Press, 1985, p. 45.)

※Web掲載に際し、著作権者からの要請により、出典を追記しております。

From *Narrative in the Fiction Film* by David Bordwell © 1985 by the Board of Regents of the University of Wisconsin System. Reprinted by permission of the University of Wisconsin Press.

[問題3]

次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

現代劇に現れる日本家屋の普遍的なものは、中流の家庭と、農家及料理屋、茶屋等の小部屋である。

（現代劇における引用者補注）中流の日本家屋の時代劇との差は、硝子窓がある事である。従って一般に明るく撮影される。此の明るいこと云ふ事が、感覚的である爲に、甚だ困難な種々の研究題目を提供する。

私は、常に其のセットに於ける最も明るい最も大きな窓、又は障子を最大の照明度の中心にする。そして此の基準に依ってそれぞれのカットの照度を定める。何事にもあれ、其のセットの照明の基準を決定して置くことが大切である。此の場合、家の内部は只明るくのみ成り勝ちで明暗の度合が無くなりやすい。これは餘程注意すべきことである。それと共に、家の向き、つまり東西南北を決定して置くべきであり、此の事は、たとへ家の一部のみが装置される場合も、全體として考へられた設計に基いての方位を知るべきだ。だからと云って北向きが全く暗く撮影されるべきでは無い。要は、其の作品の持つ性格と其の場面が作り出す雰囲気によって決定すべきである。

夜明け、日暮れ等の特殊な光線を感じさせる場面は、実際に見た目よりも特徴づけるべきである。人間の眼は明暗に対する瞳孔の調節に依って素早く事物を認識するし、或る時は感覚の手傳ひに依っても確認する。然し、カメラは其の點不便であるばかりでなく、フィルムの感度も限界があるし、結句、目的とする事物が認識される程度迄は、絶対に特徴づけなければならない^(a)。

季節の變化、即ち春夏秋冬に関する表現は、室内の撮影に於ては困難である。これは樹木の影を出すとか、小道具衣装に依って出す方が得策である。又、窓のガラスを場面へ入れて撮影する場合は、室内の光度との對比が難しい。それに窓にハレーションを起こさせぬ事に注意すべき事柄である。硝子にカメラや器物の影が寫つるアングルは極力さけて居けれども、全く究した場合にはポーラスクリーン¹を用ひて逃げる。ポーラスクリーンは此の他にも、小川の流れや、飾窓や自動車のボディー等に寫る影を消すのに役立つ。

中流の家庭を撮影する場合に今一つ生ずる困難は、階段の撮影である。一般に日本建築に於いては階段は薄暗い場所にあり、二階から採光されて居る。併し、此の光も上段の一部を除いて中下段は薄暗い。然し、この現實の儘を撮影することは意味がないことである。と云って外國映畫に有る様な明るさは、日本式の階段の表現としては不可である。これは充分に研究すべきである。まだ此の撮影は、満足のいく立體觀を出す迄には工夫を要するところである。

天井は大體にセットは作られない。これはトップライトの都合からでもあるが私は或る程度考慮さるべきだと思つて居る。つまりは、日本の部屋は下は畳、横は襖や障子の作る線から成り立つ以上、天井の直線も又、此等併行線の縦横の組立上必要であり、立體的な美しさの日本の特徴を表すからである。

百姓家は都會の家屋と異つて、軒が低く、窓が少なく光線が不足である。且つ柱が太く煤や煙によごれ且つ年代の渋味を持つて居る。此のセットは従つて光澤を吸収する。そして、直射の部分のみ特に大きく反射するので、撮影するには非常に厄介な部屋であり間取りである。

私は常に、見た眼より倍以上の明るさに照明し、バックライトを強調する。斯様にすることに依つてのみ奥行きが表現される。そして人物には抵抗を入れた光を用ひ、爐邊等では特に細い強い光線を交錯させて、勤勞と日光に練磨した風趣を描くべく努力して居る。この多くの場合ローキー・トーンは、気分を出す以外には排除さるべきであると思はれる^(b)。

此等の農家の最大の明るさの基準は、出入口と、高窓に置いて、まづ間違ひ無い様である。

茶屋や、料理屋の小部屋は茶室と同様な標準に於て撮影される。但し此の場合現代建築に於ては器物、調度等に可成り明るい光線をとる。又、夜間にあつては電燈が光源の中心であるが、これも明るく撮影する。これは實際的な光の問題よりも、検閲の制度も考慮さるべきである。

[映画学 3/3]

和洋両方の室が同一室内にある場合は洋室は天井も高く窓も多いのが常識である故に、洋室の方が一般には明るく撮影さるべきである、然し、これも一般的な場合である。

（鈴木博「劇映画に現れた日本建築の撮影技術」、『映画技術』昭和17年4月号、28－29頁）

*1 ポーラスクリーン レンズに装着する偏光フィルターの一種。

設問（1） 上記の文章は映画カメラマン鈴木博（1898－1964）によって書かれた。この文章が書かれた時代の映画カメラマンで、あなたが知っている人物の名前一名と、そのカメラマンが撮影した映画題名一つを書きなさい。ただしカメラマンの国籍は問わない。

設問（2） 下線部(a)に関して、筆者は人間の眼と比較して、映画カメラがとらえるべき視野は如何に認識されるべきものであると考えているか、10行程度で答えなさい。

設問（3） 下線部(b)に関して、昭和17年（1942年）の世界映画におけるローキー撮影の重要性を考慮するなら、意外な発言のようにも受け取れるが、筆者の真意はどこにあると思うか。映画史的な文脈に沿って、あなたの考えを自由に述べなさい。

（以下余白）

Lined area for writing, consisting of multiple horizontal lines.

(次頁へ続く)

———これより先の余白には絶対に記入しないこと———

Blank lined paper with horizontal ruling lines.

(裏へ続<)

Lined area for writing or drawing.

———これより先の余白には絶対に記入しないこと———

[illegible]

受験番号	
氏名	

演劇映像学
日本演劇

(次頁へ続く)

―――これより先の余白には絶対に記入しないこと―――

—ここから記入すること—

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——